

【基本施策】

**1 3. 地域の防災力を強化する**

【基本方針】

被災現場で「公助」が迅速に機能するために、市総合防災訓練を通して、災害対策本部や避難所立上げ訓練、災害情報や被災情報の一元的な管理に関する体制を整えるとともに、災害時要援護者情報体制の整備や支援体制の充実に努めます。

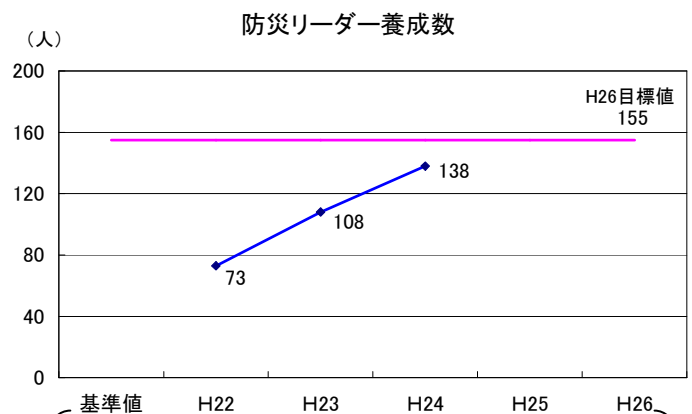
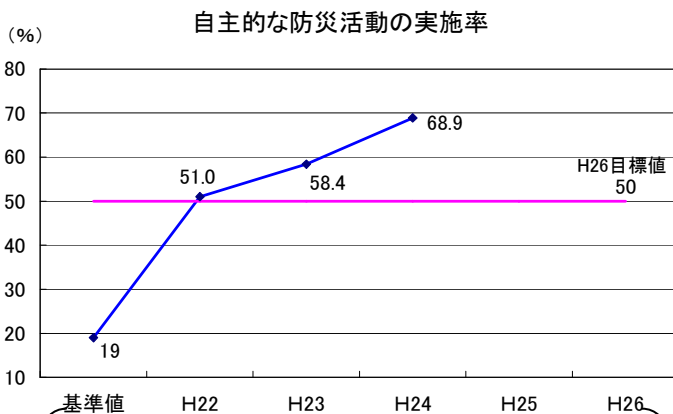
また、防災意識の向上のために、ハザードマップや防災の手引きを活用した防災出前講座などを開催し、自主防災組織や防災リーダー、消防団などと連携強化を図り、多層的な地域防災力の強化に努めます。

さらに、自主防災組織の防災資機材などのハード整備にも努めます。

【実施施策】

◇防災体制の整備 ◇自助共助体制の充実

【施策成果指標】



【防災活動の実施団体数／市内自主防災組織数】  
防災活動活性化の指標として、防災訓練や防災に関する出前講座の開催等、自主的な活動を実施する自主防災組織数の増加を目指します。

自助共助意識向上の指標として、地域の防災活動の中心となる防災リーダーを養成し、減災と地域防災力の強化を図ります。

【構成事務事業の達成ランクおよび方向性】

基本施策	構成事務事業の状況											
	H24 ランク				H26 方向性							
	A	B	C	小計	事務改善	内容拡大	内容縮小	維持	終了	廃止休止	統合	小計
<b>地域の防災力を強化する</b>	<b>10</b>	<b>0</b>	<b>1</b>	<b>11</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>11</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>11</b>
防災体制の整備	6	0	0	6	0	0	0	6	0	0	0	6
自助共助体制の充実	5	0	0	5	0	0	0	5	0	0	0	5

## これまでの取組み成果

自助・共助による防災体制を構築するために、災害時に各町内単位で活動する自主防災組織の育成と強化を図り、防災出前講座の開催に積極的に取り組むと共に、町内防災マップの作成、防災備品の整備を促進した。

災害時に住民自らの判断で早めの行動早めの避難ができるよう災害時サポートガイドブック、避難所管理運営マニュアルを作成した。

住民にいち早く防災情報を伝達できるよう防災情報無線による緊急放送のほか、コミュニティーFMによる防災ラジオの整備とNTTドコモ、ソフトバンク、auによるエリアメールを整備した。

災害時に対する日常体制および防災技術の向上を図るため、防災総合訓練や水防訓練を実施した。

## 今後の課題

自主防災組織については、155全町内での設置を目標としているが、未組織が4町内ある。

また、組織はあるが活動を行っていない組織がまだまだ見られるため、町内防災訓練の実施や防災教室の開催など、自主防災組織の活動を充実させる必要がある。

防災リーダーの育成については、各町内1名のリーダーを養成を目標としているが、現在は138名であり、未参加町内からの参加を促進する必要がある。

防災ラジオが受信し難い地域については撤去したが、それ以外の地域においては、ラジオの管理者が1年毎に代わるので、地区で固定化した住民宅に設置する必要がある。

## 今後の施策展開

自主防災組織の未組織町内については継続的に組織化をよびかけ、積極的に出前講座に出向き意識の高揚を図るとともに防災訓練の実施や防災教室開催を要請する。

町内単位の避難訓練、避難所運営、図上シミュレーションなど市民自らが運営し行動する訓練を充実させる。

## 【総合評価】

**A 政策目標に向けて高いレベルで推移している。**

B 政策目標に向けて概ね順調であるが、一部努力を要する。

C 政策目標に向けてあまり順調ではなく、一層の努力が必要である。

D 政策目標の達成には程遠く、全体的な努力が必要である。

〈H24 総合評価：B〉